

GS

先住民・文化的多様性研究 グローバルステーション

GSI は北海道大学の強みや特色を生かした国際連携研究・教育の推進と部局が独自に進める国際連携・教育の支援を目的とし、世界トップレベルの研究者を国内外及び北海道大学内から結集した総長直轄の教員組織 GI-CoRE の活動拠点の一つです。

2021 年 4 月 1 日に設置された GSI では世界的及び 地域的な先住民族の諸問題の解決と、文化的多様性 の本質解明に焦点を当てた共同研究をアイヌ民族を 含めた先住民族のコミュニティと共に行っていくこ とを目的としています。日本を含めて 10 カ国の研究 者がそれぞれの研究分野における専門的知識・技術 をもって GSI に参画しています。 (2022.04.01 現在)

GSI海外連携大学

欧州

オックスフォード大学, ウプサラ大学, ルンド大学, ヘルシンキ大学, イルクーツク国立大学

太平洋圏

サイモンフレーザー大学, オーストラリア国立大学,アラスカ大学, アリゾナ大学,オレゴン大学, 北京大学,国立台湾大学





研究の三本の柱

[先住性研究]

- ◆ 先住民族の視点からの新たな人類史・アイヌ史・先住 民史の構築
- ◆ 先住性の学際的検討
- ◆ 先住民研究に関する研究倫理モデルの構築と先住民文 化政策の提言

[先住民文化遺産研究]

- ◆ 先住民文化遺産の特性、保存と活用をめぐる諸問題
- ◆ 先住民文化遺産の知的財産権と国際比較研究
- ◆ アイヌ文化遺産を含む先住民文化遺産とツーリズムに 関する国際比較研究

[人類生態・グローバルヘルス研究]

- ◆先住民社会の伝統的資源管理の国際比較研究
- ◆ 先住民社会の子供の成長、食と栄養から見た生活環境 に関する国際比較研究
- ◆ 文化的多様性保全のための地域モデル構築と政策提言





GSIディレクターメッセージ

Global Station for Indigenous Studies and Cultural Diversity: 先住民・文化的多様性研究グローバルステーション (GSI) は、北海道大学総長を局長とする北海道大学国際連携研究教育局 (GI-CoRE) の8つ目の、また人文社会学系で最初のグローバルステーションとして、日本の先住民族アイヌの大地である北海道の地に2021年4月1日に設立されました。

GSIには、現在、学内6部局から16名の研究者と、海外9カ国14大学から23名の研究者が参加しています。GSIには、「先住性」、「先住民文化遺産」、「人類生態・グローバルヘルス」の3つの研究ユニットがありますが、ユニットを横断した多様な共同研究を新たに展開することも可能です。GSIの特徴は、クロスアポイント制度を活用して、海外の研究者を北海道大学の正規教員として招へいし、共同研究を展開する点にあります。国際シンポジウムやワークショップに加えて、独自に国際査読委員によるピアレビュー制度をもった電子ジャーナルも2022年から刊行される予定です。

GSI から発信される新たな先住民研究、文化的多様性研究の展開に注目ください。

GSI代表 教授 加藤 博文



北海道大学国際連携研究教育局(GI-CoRE)

先住民・文化的多様性研究グローバルステーション(GSI)

メール: gsi@oia.hokudai.ac.jp

ウェブ: https://gi-core.oia.hokudai.ac.jp/gsi/

電 話: 011-706-7324 住 所: 〒 001-0021

> 北海道札幌市北区北21条西11丁目 北キャンパス総合研究棟3号館106室



